

INFORMATION

芝垣亮介・奥田太郎編『失われたドーナツの穴を求めて』（さいはて社）

全国高等学校ビブリオバトル受賞記念トークイベント

あなたの心にまだドーナツの穴は空いているか？ ～半端ない高校生ビブリオバトラーがやって来る、穴ァ！穴ァ！穴ァ！

著者 **芝垣亮介+奥田太郎** × 高校生ビブリオバトラー **稲垣舞+林仁**

芝垣亮介

しばがき・りょうすけ



ドーナツの穴制作委員会ディレクター。
言語学者。南山大学外国語学部准教授。
好きなドーナツは、ハニーディップ。
好きな本は、吉田篤『うかんむりのこども』、
石毛直道『文化麺類学とはじめ』。

奥田太郎

おくだ・たろう



ドーナツの穴制作委員会プロデューサー。
哲学者。南山大学社会倫理研究所教授。
好きなドーナツは、オールドファッション。
好きな本は、三浦俊彦『エンドレスエイトの驚愕』。

稲垣舞

いながき・まい



愛知淑徳高校2年生。
第4回全国高等学校ビブリオバトル
東海大会優秀賞。
好きなドーナツは、ボン・デ・リング。
好きな本は、貴志祐介『新世界より』、
東野圭吾『変身』。

林仁

はやし・じん



昭和鉄道高校2年生。
マイナビ第5回全国高等学校ビブリオ
バトル決勝大会準グランドチャンプ。
好きなドーナツは、ボン・デ・リング。
好きな本は、サンキュータツオ『へんな論文』。

ご無沙汰しております。ドーナツロジストの芝垣・奥田です。『失われたドーナツの穴を求めて』刊行から早くも1年半が過ぎましたが、いかがお過ごしでしょうか。さて、突然ですが、ビブリオバトルというものをご存知でしょうか？ビブリオバトルとは、自分が面白いと思った本を5分間のプレゼンと2分半の質疑応答を通じてアピールし合い、参加者全員が「どの本が一番読みたくなったか？」を基準に投票でチャンプ本を決める書評ゲームです。2007年に京都の大学院生によって考案されたこのゲームは、今や全国規模の大会も開催されるほどになっているのですが、なんと！そのビブリオバトルの大会で『失われたドーナツの穴を求めて』を熱く紹介し、見事受賞まで果たしてくれた高校生が2人も現れました。本の作り手としては、より多くの人たちに「読みたい」としてもらえたことはこれ以上ない喜びです。そんな場面を作ってくれた、半端ない高校生ビブリオバトラーの2人と一緒に、久々に熱く、ドーナツの穴について語り合ってみたくなりました。みなさまを、素晴らしきサンデー・ドーナツホールへご招待したいと思っております。ぜひ足をお運びください。

日時：2019年2月24日（日）午後12時30分～午後2時

場所：Carlova360 NAGOYA（名古屋パルコ東館4F）

参加費：1ドリンク制（400～450円）＊ドーナツ付き

定員：30名

申込方法：下記メールアドレス宛に、「ドーナツのイベント」というタイトルで、参加者のお名前を送付ください。

お問合せ：ドーナツの穴制作委員会・芝垣

(E-Mail : ryos@nanzan-u.ac.jp)

お客さまへお願い

※定員に達し次第、募集を終了致します。

※本イベントの安全な運営のため、主催者側がイベントにふさわしくないと判断した場合、特定のお客様にご参加をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

Carlova 360